

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年 6月 日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県知多市北浜町24番地の5 サンエイ糖化株式会社 本社工場	
氏 名 生産本部長 小嶋 昌邦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0562-55-5111	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	サンエイ糖化株式会社 本社工場
事業場の所在地	愛知県知多市北浜町24番地の5
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09：食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷高：171億円
③従業員数	188人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ぶどう糖濾過：汚泥（残渣）→再生処理業者に委託してコンクリート原料等再資源化 ぶどう糖製造：汚泥→自己脱水処理→再生処理業者に委託して肥料等として再資源化 設備更新：廃プラ類→最終処理業者に委託して埋立処分 包装材：ビニール、紙→再生処理業者に委託して燃料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>本社工場</p> <p>├── 生産本部長 (廃棄物処理責任者)</p> <p>│</p> <p>├── 本社管理課 (産業廃棄物管理担当課)</p> <p>│</p> <p>├── 産業廃棄物管理責任者</p> <p>└── 特別管理産業廃棄物管理責任者</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (平成23年度) 実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 一部膜濾過をし、汚泥 (残渣) を減らす。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別強化の継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底の継続		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定にない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 脱水機の適正管理		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 脱水機の適正管理の徹底		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底 再生利用業者への処理委託		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別徹底の継続 優良認定処理業者を選定する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

項目			産業廃棄物の種類					
			污泥(濾過残渣)	污泥(廃水処理)	廃アルカリ	廃油	ビニール・紙	廃プラスチック
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	①現状	排出量	2295t	21826t	107t	14t	109t	26t
	②計画【目標】	排出量	2250t	20000t	0t	14t	100t	25t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	①現状	再生利用量	—	—	—	—	—	—
	②計画【目標】	再生利用量	—	—	—	—	—	—
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状	熱回収処理量	—	—	—	—	—	—
		中間処理量	—	18146t	—	—	—	—
	②計画【目標】	熱回収処理量	—	—	—	—	—	—
		中間処理量	—	17700t	—	—	—	—
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	①現状	埋立処分量	—	—	—	—	—	2t
	②計画【目標】	埋立処分量	—	—	—	—	—	2t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状	全処理委託量	2295t	2359t	107t	14t	109t	26t
		優良業者委託量	—	—	—	14t	—	—
		再生利用業者委託量	2295t	2359t	107t	—	—	—
		認定熱回収業者委託量	—	—	—	—	—	—
		認定以外熱回収業者委託量	—	—	—	—	109t	—
	②計画【目標】	全処理委託量	2250t	2300t	0t	14t	100t	25t
		優良業者委託量	—	—	—	14t	—	—
		再生利用業者委託量	2250t	2300t	0t	—	—	—
		認定熱回収業者委託量	—	—	—	—	—	—
		認定以外熱回収業者委託量	—	—	—	—	100t	—

※現状：【前年度(平成23年度)実績】